



## 『エンジョイ ロータリー』

～Enjoy Rotary～

東京六本木ロータリークラブ会長

# TOKYO ROPPONGI ROTARY CLUB

東京六本木ロータリークラブ



『夢をかたちに』

～ Make Dreams Real ～  
国際ロータリークラブ会長

発行日 2008年9月8日

No. 8

## WEEKLY REPORT

平成20年8月25日

卓話 『国際ロータリーの方針』

第2750地区ガバナー

新藤 信之 様

今年度の李R.I.会長は、水、保健と飢餓追放、識字率向上の3つの強調事項を通じて子どもたちの死亡率を下げ、未来を担う子どもたちの夢を形にしたいということでMake Dreams Realをテーマに掲げています。世界では年間970万人、1日約3万人の子どもが、治すことのできる病で亡くなっています。その根底にあるのが食糧不足、栄養不良。これはある意味では不作為の問題です。講演で心に響いたのは、助けることができないから子どもたちが死ぬのではなく、助けないから死ぬんだという強烈なメッセージです。マザー・テレサは愛の反対は憎悪でなく無関心だと言った。「不作為と無関心」、我々ロータリーはこれをなくすように努力しなければならない。毎日3万人の命は救えないにしても10人、100人、もしかしたら1,000人の命を救えるかもしれない。その救われた命の重みを、私たちは知っているはずです。

次に地区の方針です。今、世界は閉塞感に包まれています。こういう時こそ変化が必要ではないか。「生き残るものは決して強いのでも賢いのでもない。変化に対応できる生物こそが生き続けてきた。」というダーウィンの言葉がございます。ロータリーでいうところの変化、私は2つあると思います。1つは我々の奉仕の対象を変えること。もう1つはロータリーの管理、運営の方法です。この2つを、私は具体的に取り組もうと決意し、今年度重点目標の1つとして、組織の簡素化と財務の透明適正化を掲げました。

財務の問題では地区資金を15,500円から13,500円、2,000円減らしました。これは地区の活動が肥大化して、実態を見るとお金があればあるほど使ってしまう傾向があると認識したためです。これは補助金です。もし足りなかったら自分たちでチャリティーをしたりして、やってくださいと申し

上げています。例会のあり方もそれぞれのクラブが実情に応じて工夫しなきゃいけない。広報ではガバナー一月信を4ページにし、ホームページを充実させ、年次報告書をホームページから直に編集する方法を取り、3つの委員会を1つにしました。それによって地区の資金が300万ほど節約できるんです。そういったことで組織のあり様を変化させようと考えております。

もう1つの奉仕活動の実践分野の対象を変化させるということですが、R.I.にはR.I.プログラムと奉仕の機会に関するメニューがあります。これらは100年のロータリーの歴史の中で一般化され抽象化されたものです。そこから地域社会に対応した具体的なプロジェクトを考え立案し実施するのが、今の一般的なロータリーの方法論です。今、六本木ロータリークラブさんは六本木中学と一緒に土や壁を緑化して、環境保全を考え、ヒートアイランド現象を抑えようという方法論をとっている。先ほどのメニューR.I.プログラムを参考に、今の活動に加えて、この六本木界隈のニーズを集め、議論して新しいプロジェクトを作っていていけば、本当の意味でのロータリーが活性化するのではないかと思います。どうか自分たちの奉仕活動を積極的に変化させ、エンジニアリングの中で新しいロータリークラブを作ってほしい。そういう考え方で、今、ガバナー訪問を回っております。この任を受けた以上は、それを貫き通したいと考えておりますので、ご支援いただきたいと思います。

